

「あらかじめ持ったこと」講師:福岡グレイス教会 パク・ジョンヒョク牧師

司会: 広島真愛教会 シム・ジュファン牧師

<p>あらかじめ持ったこと</p> <p>■あらかじめ? 1霊的事実 ヘブル11:3 “信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、その結果、見えるものが、目に見えるものからできたのではないことを悟ります”</p>	<p>こんばんは。集まっているときより今が少し緊張しますね。画面を見てするのは初めての経験なので。今日、子ども宣教局の使役者のメッセージなんです。</p> <p>来週が子どものメッセージなので、6月の「あらかじめ持ったこと」は来週のシム先生にお任せして、私はその使役者が持つべき心構えとか準備に対してお話ししたいと思います。「あらかじめ持つこと」ということがどういう意味なのかをともに明確にできる時間になったらいいなと思っています。私も十分に理解できているかは分かりませんが、示されていることに対して考えてみたいと思います。</p> <p>途中で分からないことがあれば質問してもよろしいので。少しゆっくりしましょう。毎週ある伝道学校は30分で済むのですが、今日は30分を超えますので、8時半から用事がある人は少し先に延ばしてください。今日は画面を見ながらしますので、画面を見てください。私の顔を見ても仕方がないです。見えますか?</p> <p>6月の学院福音化の題は「あらかじめ持ったこと」という題になっています。「あらかじめ見る、あらかじめ所有する、あらかじめ持つ、あらかじめ味わう、あらかじめ征服する」ずっとシリーズがありますけれども、「あらかじめ見る」とか「持つ」とかということがなんなのかに対して、十分に私が、使役者がまずよく理解したうえで、あらかじめ味わってから伝えなければならない部分があるので、そういう部分を自分の許された範囲内でともに分かち合います。</p> <p>最初、あらかじめとは何なのか? 「前もって」とか「あらかじめ」とかあると思うんだけど、人間は体を持っているので、一箇所しかいられないんですね。今しか生きられないし、そういう意味で他の獣と一緒なんだけれど、他の獣はあらかじめということがないんですね。ほとんど。私が知っている限りは。今ここしか考えないように、それしか見ないように、それしか聞かないように。未来のこととか世界のこととかは本当に何も気にしないように神様が創造されているので、獣にはあらかじめということがないといっても、過言ではないと思うんです。</p> <p>人間だけに与えられている「あらかじめ」とは何なのかということは後で話</p>
--	---

<p>2世界の成り立ち</p> <p>神のみこころ</p> <p>→神の計画</p> <p>→神の考え</p> <p>→神の実行</p> <p>→すべての世界の法則</p>	<p>をしますが、人間は神様の姿なので、それが神様の姿であることは、間違いないんです。</p> <p>その部分を見ますが、</p> <p>まずヘブライ書11:3です。“信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、その結果、見えるものが、目に見えるものからできたのではないことを悟ります”</p> <p>聖書は言います。神様がすべての世界をみことばによって、そして御力によって創造された。だから目に見えるすべての世界はすべての獣とか神様から離れた人間は今、目に見えることに非常にこだわってそこからすべてのことをスタートさせます。こういうことが見えるから、これが聞こえるからと。それに反応するような形になっているんだけど。しかし聖書を見ると神様は何も無かったときに、何も見える物聞ける物が無かったときに、神様の思いがあって神様が計画を立ててみことばをもって神様の世の中に実現された。それが聖書のことばなんですね。</p> <p>それを少し整理するとこうなります。世界がどう造られたかという神様のみ心が先にある、そして神様がそれに乗っ取って計画されて、それを少し今の言葉に変えると神様のところがある、神様の考えが具体的に、そしてそれを持って実際、この世に現わして行くためにみことばをもって世界に命じたんです。そして聖霊様がみことば通り働いて神様のみこころを世の中に現わして下さったんだけど、その神様のみこころが、計画が、みことばが実際に姿を現しているのが世の中のあらゆる存在と、世の中を貫いているあらゆる法則になります。さまざまな自然法則も含めて人間社会に存在する、持って生まれるあらゆる法則というものがありますね。そういうものが世の中のあらゆる流れを作っているのです。</p> <p>それが確かな理由は、実際この神様のみこころから世の中へ行く流れは確かな流れであって、世の中から神様のみこころになることはないんです。すなわちこの流れは一方通行なんです。神様の方から世界が造られてきて、よく科学者たちが言っているようにビックバンみたいに神様からすべての世界が出てきた。</p> <p>しかし今世界はどうでしょうか。目に見えることと聞こえることによって神がこうだとか言ってあらゆる神々を作ります。流れが逆さま、逆になっているんですね。</p> <p>まるで車のエンジンがあったらエンジンがミッションを通して車軸を回してタイヤが回る。それが正しいんです。車を作った人がそういうふうなエンジンから力が伝わってタイヤが回るように作ったんです。タイヤを回したらエンジンがかかるとはいいんです。それは一方通行なんですね。</p>
--	--

<p>3既に起きた霊的問題(根本問題)</p> <p>1)罪を犯して神様を離れた (ローマ3:23) ”すべての人は罪を犯したので神からの栄誉を受けることができません”</p> <p>2)サタンの奴隷(ヨハネ8:44) ”あなたがたはあなたの父である悪魔から出たものであって、その欲望を成し遂げたいと願っているのです。”</p> <p>3)自分が主人という錯覚 (創世記3:5) ”あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです”</p> <p>4イエス・キリストにあつてすでに解決されている問題(ヨハネ19:30) ”イエスは酸いぶどう酒を受けられると、「完了した」と言われた。そして、頭をたれて、霊をお渡しになった”</p> <p>1)大祭司なるキリスト (ヘブル9:11-12) ”しかしキリストは、すでに成就したすばらしい事柄の大祭司として来られ、手で造った物でない、言い替えれば、この造られた物とは違った、さらに偉大な、さらに完全な幕屋を通り、(11)また、やぎと子牛との血によってではなく、ただ一度、まことの聖所に入り、永遠の贖いを成し遂げられたのです”</p> <p>2)王なるキリスト(Iヨハネ3:8) ”罪を犯している者は、悪魔からでた者です。悪魔は初めから罪を犯しているからです。神の子が現れたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです”</p>	<p>世の中のすべてのものは見えない神様と神様のみこころ、神様の計画から全てが見える形に出てきたことをまず私たちが聖書の証言を受け止めなければなりません。</p> <p>それでその神様が造られてよかったんだけど、創世記3章の問題によって結局人間のさまざまな問題もすでに起きてしまったんです。神様がすべてのことをみことばを持って造った。神様の力によって造ったことはまさに創造のビッグバンといえば、まさに創世記3章の問題はその神様から切り離されてしまう、その神様から分断されてしまうような罪が起きてしまったんです。そして神様が造ったすべての流れにのっとって罪が全世界に及んでいるし、未だに深まっているし、広まって行きます。</p> <p>私はこれを罪のビッグバンといいますけれど、創世記3章の問題はまさにその問題ですね。1人の人間に起きた罪がすべての人類の末端まで次の世代までずっと及んで隔々までさまざまな形で具体化されていくし細かくなって行きます。要するに12の問題というふうになっていくのですから。この問題も目に見えない問題なんだけれど、実際に起きてしまった問題です。そして今私たちはそれを、体を持って生活を持って、実際それを、身を持って体験しているわけでしょう。</p> <p>罪の問題、サタンの問題、そして自分が主人であると思う錯覚ののろい。実際はサタンが、罪が、主人なのに罪とサタンに捕らわれている自分が主人だと錯覚しているのがまさにそれがのろいです。そののろいの結果、私たちはどうすることもできない死と地獄の運命を、滅びの運命を抱えてしまったわけです。神様が、人間がその解決をできないことを知っておられて神様が救いの道を人間に相談されず神様が与えたんです。それもある意味ではあらかじめ。人間には知らされてなくて神様が一方的に定めて神様が実行した内容なですけれども、それがイエス・キリストにあつてすべての問題が解決できるように神様が考えてそれを実行したんですね。</p> <p>大祭司なるキリストが罪の問題を贖ってくださり十字架で死んでくださりそして死んで3日目によみがえられて死とサタンの力を打ち破った真の王となられて、そして天に昇られて神の右の座に座られて、神様と人間の間。神様が人間のために来られて、人間として死んで神様に戻ることによって神様と私たちが往来できるような道となられたわけです。</p> <p>そのイエス・キリストを信じるものは誰でも、神様がともにいる神様の子どもとなって、また祈る特権が与えられています。これが今言った4つのこと。</p> <p>あらかじめとは何なのか。すなわち人間が、私が考えるのかとか、どう受け</p>
--	--

3)預言者なるキリスト(ヨハネ14:6)

”イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません”

■あらかじめ？

霊的事実 ヘブル11:3

“信仰によって、私たちは、この世界が神のことで造られたことを悟り、その結果、見えるものが、目に見えるものからできたのではないことを悟ります”

■持った？

1私という存在(創世記1:27)

”神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された”

止めるか味わうとか関係なく、すでに起こってしまったこと。神様がすでに実行されたこと。罪も、神様の創造も、解決もそれがある意味あらかじめという言葉の中に表現されています。だから私たちが「あらかじめ持った」ということは、すでにこういうことが私と関係なく起きているし実行されていることを意味します。私がどこを取るかが大事です。

罪の、先ほど言ったように創世記3章の罪とサタンとのろいの中にいる、このことに私が留まってしまうと結局私は後のことは決まってしまうでしょう。しかしそのことを解決されたイエス・キリストを私が受け入れてしまうと創造の神様、すべての主のみことば通り成って行く神の国と聖霊充滿を私は味わうようになるわけです。

では持ったことはなんなのか。

先ほどのあらかじめは、神様の創造、罪、解決こういうこともすでに起こったことを意味しますが、それが私とどう関わるかということが「持った」という意味なんですけれども。

そもそも私という存在はどんな存在なのかというと創世記1:27を見ると”神はご自分の形に人を創造された。すなわち神の形に彼を創造し、男と女に彼らを創造された”神の形に人を創造されたんです。

1番最初に冒頭でお話ししましたが、神様は何もないところ、目に見えること、聞こえること、手に握られることが何もないところから神様がすべてのことを考え計画し、そして命令し存在させたのです。その神様の形をもって人間を造られているのです。だから人間は獣ではありません。人間は何か目に見えるもの、聞こえるもの、また触れるものによって左右される存在ではないのです。

特に使役者、親たるもの、そしてその働きが必要とする人にとってはどうしてもその関りがあるので目に見えることと、聞こえることによってどうしても影響されがちなんですけれど、そこで私たちは信仰告白しなければなりません。神様は私たちを創造の神様の姿に造られました。私たちがイエス・キリストによって救われて神の国と聖霊充滿によって満たされていることは何もなくても私の方から神様が再創造のわざを起こすことを意味します。

だから使役すると言いながら悩まされたり振り回されたりすることが、私が決して神様のみこころでないことを知るべきであります。それはある意味もちろん私たちが、力がないから仕方がない部分があるかもしれませんが。どんなことがあるにせよ、どんな状態であるにせよ根本をはっきりと私が受け止めるべきであって、それに対して信仰告白をすることであります。私たちは神様がともにいて神様のみことば通りすべてのことを造り出す者である。

<p>2伝道者に任された世界 私に対する神様の計画(契約) →私の契約祈り(信仰) →契約祈りの答え(聖霊の働き) →生活で現れる WITH の証拠(証人) 持った？</p>	<p>聖書のレムナントたちは全部そうでした。すべてのことをおいて、すべてのことを奪われて何も無い所で、捕虜となって奴隷になって、そこから神様がともにいて新しく造った者でありました。再創造のわざを体験したものでありました。</p> <p>神様の形として造られた私たちに神様が何を願うかということと世界が私によって再創造されることを願っておられます。すなわち私に対する神様の計画は、世界を救い、そして神の国が臨まれて神の栄光を現すように。だから神様はまず私たちに神様の約束を与えます。見えない約束。しかし神様にとっては絶対なる約束を与えておいて、私たちにその契約を握る信仰を与えます。まさにこの契約の祈りというのは、神様に必ず成って行く契約の祈りを信仰の祈りができるときに神様がそれに約束されました。聖霊様が働きます。そして聖霊様が働かれれば今まで希望がなかった絶望的な状況であったそこに神様がともにいるしるしが、みことば成就のしるしが、どんどん現れるようになります。エゼキエル時代の干からびた骨が生き返る働きが起こるし、死んだ子どもがよみがえるわざも起きるし、なにもかにも無くなった空っぽの瓶に油が、また小麦粉が満たされる。そして空っぽの甕に水が満たされてそれがぶどう酒に変わる。そのわざが現れるようになります。</p> <p>もちろんみんなそれを求めるでしょう。見える形での祝福とか答えを求めるんだけれど、神様が私たちに求める信仰はその信仰ではないのです。よく言うでしょう。病気がかかった人に「病気が治ることを信じます」と。気を付けるべきです。信じるかどうか大事です。生きるか死ぬかは主の主権です。私がそれを「治ると信じます」と。それはよく気を付けなければならぬことばであります。確かにそれを祈れなくはないし、「願います」とは言えるかもしれませんが、「信じます」というのは神様が求める信仰からは若干ずれているからです。</p> <p>神様が求めておられるのはただ1つの信仰であります。天下にイエス・キリスト以外には神様に会う道は与えられていないので、神様の会う信仰だけ持ちなさい。</p> <p>ここが1番重要な部分です。後で話しますけれど、私たちの信仰がいろいろな信仰があるように私たちは錯覚したりします。そして唯一のイエス・キリストを信じる信仰にオールインしないで8割信じて9割信じて、後はまたほかの信仰を持って合わせようとして。神様はそれを願っていません。そのわずかな不信仰が結局すべての世界を全部、罪に汚染させてしまいます。</p> <p>コロナウイルスを見てください。コロナウイルス。ほんのわずかなものが世界を完全に掌握しているでしょう。神様がその伝道者にただイエス・キリスト</p>
---	---

3あらかじめ夢を持たせる神様

ピリピ2:13

“神はみこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださる方です。”

を与えておいてイエス・キリストにオールインする者には神様が必ず、神様があらかじめ計画している神様のビジョンを夢として心の中に現わしてください。いつでしょうか。契約の祈り、契約の信仰を持った時に神様がそれを私たちにそれを夢として神のみこころを刻印してください。

ピリピ2:13です。”神はみこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださる方です。”

神様が願っておられるんです。みなさんと私に神様のビジョンを、神様の絶対成って行く約束のことを心の中に与えて刻印されることを神様がよしとされているんです。すなわち神様が、私たちが夢を持つことを願っているんです。どんな夢でしょうか。神様が与えている、神様が私に対して与えている創世以前からのビジョンが私の夢となることを刻印されることを私たちに願っています。

これさえできれば私の生活が定まります。この神様の絶対ビジョンが私の夢として私の中に刻印されていけば、あとはすべてほかのことは増し加えてくださいますから。ただしその神様がいつその夢を私に刻印させるかという、キリストにオールインしたもの。すべてのことを持ってイエス・キリストにオールインする。まさにその信仰を神様が待って神様が待っておられるわけです。

ではその神様が与えるこの夢に対して私たちは今、今日「あらかじめ持ったもの」について話しているんだけど、私たちは今、神様の約束を握って祈っているし、実際世界福音化に向かってやっているんだけど…。実際やってみるとさまざまな問題が現れてきます。

だから私たちが曖昧に信じようとしなくて正確に信じればいいんです。神様は別に難しい信仰を与えておられてはいなくて、成って行くしかない信仰を与えられているので、私たちが先入観と偏見をもって宗教的な考えをもって適当にやろうとするのも問題すけれども、確かにそれは、神様は万全の体制を持って私たちに準備されたものを与えるので心配がいりません。

じゃあ。私たちが今イエス様を信じて神様の約束を握って、講壇のメッセージを握って、それぞれの現場でそれぞれの戦いに挑んで実際、日本の福音化に向かって日本の救霊に対して私が心を尽くしておられる方たち大勢いらっしゃるし、また、ここに集まっておられる方々はその思いが人一倍強い方だと思いますが、それにもかかわらず私たちが実際、神様が、イエス様がすべて終わらせているのにもかかわらず私の生活は終わっていないかのように見えることがたくさんありますし、そして終わったと信じていながらも、実際、目の前に見えていることがあんまりしんどかったりすると、私た

<p>■あらかじめ持った伝道者の今 (Already Not yet)</p> <p>1)主にあつてすでに終わったこと 2)現実にあつてまだ終わってないこと 3)あらかじめ持った =私の中心の立ち位置</p> <p>(1)ガラテヤ2:20(既に)に立って (COVENANT)</p> <p>“もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。今私が肉において生きているのは、私を愛し、私のためにと自分を与えてくださった神の御子に対する信仰によるのです。”</p> <p>(2)ピリピ3:12-14 (まだ)へ向かう(VISION)</p> <p>“私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。ただ捕えようとして追求しているのです。そして、それを得るようと、キリスト・イエスが私を捕えてくださったのです。兄弟たちよ。私は、自分はずすでに捕えたなどと考えていません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を旨ざして一心に走っているのです”</p>	<p>ちはそこで戸惑ったりします。</p> <p>だから自分たちが今置かれているこの状況が、神様のみことばの中からはみ出しているものではなくてみことば通りであることをまず確認することが大事なんですね。信仰の中で一番やっかいな不信仰というのは、みことばの外で存在するかのように考えることです。間違っただけでも失敗したこともみことばどおりに失敗したことが分かれば希望があるんだけど、みことばから離れて勝手に失敗できると思って、またつまずきが勝手にできると思っていればそれは困ります。</p> <p>すべてのものが神様のことばどおりになりますから。神様のことばを正確に知っていれば私たちは良い方法を選択したらいいのです。</p> <p>じゃあ、あらかじめ持った伝道者の今となっていますが、英語で「alredy not yet」という、日本語で言うと「すでに、と、まだ」ということになっていますけれども。これは神学的なことばですが。イエス・キリストを信じる者はこの間で生きているんですね。</p> <p>すでに終わったことと終ってないことの間で生きているのがイエス・キリストを信じる者の人生であります。もう一回、順番が…。終わってないことから終わっていることに向かっていくのではなくて、終わっていることから終わってないことに向かって行くんです。</p> <p>だからこの「あらかじめ持った」ということばが成り立つんです。イエスの中にすでに終わっているんです。神様の中にはみなさんと私のすべての未来までも全部完成済みです。具体的に現れてないだけであって、私が現れることが全部見えないと、なんだかんだと言いながら、信仰だと言いながらやっぱり見えないと、手に握らなければ実際それは何？と思うかもしれませんが、それは私たちが長い間神を離れて、物質中心と人中心と成功中心の生活が長かったのでそういう不信仰が完全に根を下ろしてしまったからそう感じるだけであって、実際の本当の信仰はその目に見える信仰とは関係なく完全に主の中に終わっているんです。</p> <p>神様が願っているのは神様が私の生活の中で「してみろ」と「なんとかこれをしてしろ」とか、神様を引きずり下ろす信仰ではなくて、むしろ私たちが変わらない、必ず成って行く、また完全である始まりであり終わりである主の中に私の心、考えが、生活が移されることを願っておられます。なぜ？主は完全でありますから。</p> <p>主にあつて完全に終わっているから。だから終わっているんだけど、それが私の生活の中では終わっていない。現実的には。イエスの中ではすべて終わっているのだけど私の中では終わっていない。なぜでしょうか。そも</p>
--	--

そもそれが神様の計画です。神様は簡単に言えばイエス・キリスト以外には何も与えてないんです。だったらイエス・キリストの外は全然終わってないんです。イエスの中だけが終わっているのです。私たちがイエス・キリストを信じて救われました。終わっています。じゃあ。みなさんが完全に入りましたか？天国に今入ったわけじゃあないでしょう。この世に生きています。体をもってこの世に生きています。

お金も健康も世の中の遊びも必要だし、楽しみも必要です。だからイエスの中では完全なんだけど、しかし、私の中ではまだ終わってない部分がほとんどなんです。だから神様はその中に私を置いたわけです。

そもそもアダムとエバを造ったということがそうなんです。エデンの園というのは神様がともにおられて神様がすべてをすべ治めるところを意味します。そのエデンの園に留まるのではなくてエデンの園を耕して世の中でサタンにしばらくの間与えておいたその所を、生んで、増えて満ち溢れて全世界を神の国とすることが神の元々の計画だったので。アダムとエバが造られたということは簡単に言うとアダムとエバ以外には、残りは全然終わってないんです。

今から始まるんです。キリストだけが終わっているんです。キリストの中に私がオールインした分、これからどんどんこれから神の国と聖霊充満が臨まれてそれが広まって行くようになっています。

鍵は1つなんです。イエス・キリストしかないの。イエス・キリストだけが広がらなければなりませんから。イエス・キリストが広まって、教会が広まって、私が広まるのではなくて、イエス・キリストだけが広がらなければ、罪サタンのろいには勝てないので。私たちは唯一与えられたこのイエス・キリストの中になんでもかんでも全部イエス・キリストの中に持ってオールインしなければなりません。世界は散らばって行くことということよりは、世界を持って私のすべてをイエスの中にオールインすること。

すなわちあらかじめ持ったという意味は私の心の、生活の中心の立ち位置を意味します。確かに成っていないこともありますし、終わっていることもあります。イエスの中では終わっているしイエスの外では終わってないんです。じゃあ、私が何を持つべきなのか。あらかじめ終わったこと。イエス・キリストが終わらせているんです。神の国は約束されているんです。日本福音化は神様が約束されているんです。その神様の絶対計画の中に、神様がともにおられる with、インマヌエルの中に私たちが自分の中心を置く。これが「あらかじめ持つ」唯一の道なんです。

未来、日本の福音化、地域の福音化をどうするかという計画を前もって持つ以前に。何かの計画、何か未来の夢の話ではなく、すでに神様が与えた絶

<p>ガラテヤ2:20</p> <p>”私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです”</p>	<p>対、サタンが、罪がどうしようもできない神様の絶対計画の中へ、神様の絶対的な守りの中に私のすべての生活が見るもの聞くものすべてのものがイエスの中にどんどん入って行って屈服するように。</p> <p>使役者の中に使役者の心の中に無いものは現実に起こらないんです。それが神様の定めです。神様の姿なので、私の心の中に現場に対するビジョンがなければ、計画がなければ、また青写真がなければ神様それは私に与えません。</p> <p>なぜ。1番神様が与えられた最高の祝福「あらかじめあなたに与えた」んです。神様のみことと神様の御力を私が持つようにイエスの御名を与えているんです。それで神の国と聖霊充滿を求めなさい、とおっしゃっているんです。</p> <p>だから「あらかじめ持つ」ということを整理しますとこうなります。</p> <p>ここが1番肝心かもしれませんが。ガラテヤ2:20。あらかじめというのはいまにイエス・キリストの中にオールインすることを「あらかじめ持つ」と言います。すなわちオールインしなければ「あらかじめ持つて」ないんです。</p> <p>9割信じた。はっきりは持ってないんです。</p> <p>箱舟の中に半分乗った。扉に挟まれて死ぬでしょう。箱舟の隣に立って触りながら記念写真を撮った。溺れて死ぬでしょう。箱舟の中に入って扉を閉めなかった。窓を開けばなしにした。また死ぬでしょう。</p> <p>箱舟の中に完全に入って扉を閉める。この時に私たちがやっと「あらかじめ」でない終わってないところへと、神様が私を押し出す準備ができたと言えます。</p> <p>だからガラテヤ2:20は単純な気持ちの現れではないんです。そうなりたいたいという願いではないんです。神様の契約なんです。キリストとともにあなたはすでに十字架に死んでいる。もはや私は何も考える力も、行う力もありません。死んでいるんです。生きているのはもはやイエス・キリストのみ。</p> <p>願うから。「アーメン。アーメン」しなくてもいいんです。この事実が信じられる、この恵みが私には必要なんです。神様から出ることは私が勝手に願ったからできるのではなくて、神様の恵みが必要なんです。</p> <p>伝道というのは行って伝えれば伝道だと思ってもいいんですが、聖書は言います。神様から遣わされなければ伝道になりません。すなわちすべての始まりが、神様から出ていなければ、いくら似ていても9割5分知っていても残念ながら、それは神様から出たものでなければすべて不信仰です。</p> <p>私たちが子どもに使役とか教会学校とかいろいろしたりしても、私たち伝道者の中に「あらかじめ持っている」部分がなければ、この私は死んでキリ</p>
--	--

<p>ピリピ3:12-14</p> <p>“私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。ただ捕えようとして追求しているのです。そして、それを得るようと、キリスト・イエスが私を捕えてくださったのです。兄弟たちよ。私は、自分はずでに捕えたなどと考えていません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を旨ざして一心に走っているのです”</p>	<p>ストが生きているということがなければ、それはなんでしょう。私が何かを手を持ったという意味ではなくて、キリストの中に私が丸ごと入ったということです。丸ごと入っているからそこから出てくる考えと思いが神の国となるし聖霊の力が働いている考え、思いとなるから、なんでも祈りなさいということになるのであって。私が7割キリストの中に入れておいて後は自分の欲望とか必要に応じて「神様がなんでも欲しいものを祈りなさいとおっしゃいましたね。祈りますよ」そういう意味ではないんです。</p> <p>10分の1か10分の9か迷うのは、全部10分の10入っていれば後は主が10分の1は出して、また10分の9を出して、そのことばに従っていけばいいんです。そのことばに従っていけばいいんです。そもそも決まりはないんですから。そもそも私はガラテヤ2:20によれば完全に主のものです。もはや生きているのはイエス・キリストだけです。そしてそのイエスの中にオールインしたこの神様の絶対契約、唯一の契約、カバナントにオールインした者に神様が夢を与えて、夢を刻印させておいて、そして未来に向かっていくようにします。</p> <p>ピリピ3:12-14 はなんでしょう。「私はまだ捕えたとは思いません。」パウロは結論を出した人なんです。すでにガラテヤ2:20を告白したものです。しかし、彼はまだ捕えてないといい、まだ終わっていないと言っています。なぜでしょう。今あらかじめ持った、キリストの中に全部終わったということは、これからキリストとともに今から残されたキリストの名前が伝わっていない、神の国が臨んでない、そのすべてのところに私を通してキリストが伝わるために今から私は出発できるんだよ、ということですから。だからパウロは自分のいのちの限りにイエスの福音が宣べ伝えられることに対してはいのちも惜しまないと彼は告白しています。</p> <p>私たちが確かに終わっていないあらゆる使役がたくさんあります。しかし、今日特別に強調したいのは「あらかじめ持っている」かです。私が、私が死んでキリストが生きているということを私が持っているのか。</p> <p>その中で今回、土曜日にメッセージの中で言われた部分「最適、最善、最高」。ではなぜガラテヤ2:20の中でイエス・キリストにオールインして、そして神の国と聖霊充滿を求めるべきなのか。その部分でこの「最適」という部分に対して話をしたいと思いますが。</p> <p>私たちはなぜこれをするのか。子どもの使役という時に、このことを何故するのか。何故ここに時間をかけて、お金をかけてすべきなのか。これは希望がないからやめておこうとか、いろんなことでさまざまな基準があるでしょう。</p>
--	---

<p>■最適</p> <p>1 自適</p> <p>1) 欲しがること → 自己満足の奴隷</p> <p>2) よくできること → タラントの奴隷</p> <p>3) しなければならないこと → 使命の奴隷</p> <p>4) 人々が求めること → この世の奴隷</p> <p>2 最適(今、ここ)</p> <p>1) イエス・キリスト</p> <p>2) 神の国</p> <p>3) 聖霊の業</p>	<p>何が1番正しいのか。1番最適なのかを決めかねることがたくさんあります。すなわちこれが日本語でいうと「吉が出るか凶が出るか分からない」。そういう曖昧な部分がいっぱいあるんですね。</p> <p>大体私たちは「良かったねえ」と言うその基準が大体、知的、自分が良くてできること自分が欲しがること自分がしなければならないこと人々が求めることなどを基準とします。</p> <p>皆さん、将来の子供たちが職業とか何になりたいとか、大体こういう範囲内で決定しようと思っています。私のすべてのものの選択とか決定の基準がほとんどそうです。</p> <p>しかしよく考えてみればそうなる欲しがるのが基準となれば自己満足の奴隷となるでしょう。良くできることを選択するならば自分のタラントに従っていくタラントの奴隷となるでしょう。しなければならないことは義務感、使命感の奴隷となります。人々が求めることはこの世の人々の目を意識する奴隷となって行く。</p> <p>神様から離れている私たちは神様から元々与えられている自分の姿があるにも関わらず、神から離れている間にサタンによって相当いじめられていて、そしてさまざまなものが変形しているし、色も変わっているし形も変わってしまっているんです。だから本当の自分と、サタンによって捻じ曲げられ変形し変質した自分が、見分けができないんです。</p> <p>なぜでしょうか。惑わす霊であるサタンが今も働くから。悪霊どもが働くから。何が本当に神様が喜ぶことなのか、サタンが私をだましているのか、わけが分からなくしてしまいます。だから私が今自分なりにには最善を尽くして自分なりにには1番いいことだとやったことが裏目に出たり、しばらくはよくしていてもひっくり返されたりすることはよくあることです。</p> <p>じゃあ結果がどうであろうと、長続きするかどうなるかそれも分かりません。別にそれを基準とすれば私はずっと惑わされます。</p> <p>信仰の先輩たちも失敗者に見えたりします。その時その時神様が与えた最適な道を歩んだ人たちも私の目から見ると「ああ。失敗したんだなあ。ここは足りなかったんだなあ」と見てしまうんです。なぜでしょうか。基準が神様の基準でなくて自分なりに持っている基準があるんです。だから私たちは長く続ければ正しいと思うし、あるいはみんなたくさん集まれば正しいと思うし、自分が嬉しくなって感謝できると正しいと思ってしまうんです。そういうものは神様の基準とはなりません。</p> <p>だから本当の基準は目に見えないんです。</p> <p>子ども使役の時に私が何を基準とするべきなのか。本当の基準は見えない</p>
--	--

<p>3三位一体の神様のみを求める という決断</p> <p>1) ただ 2) 先に 3) 常に</p> <p>結論</p> <p>1. 「真のあらかじめ」は創造主固有のもの →創造の力があってこそ可能</p>	<p>い。なぜ。神様が人間をそのように造られました。神様の見えない心、神様の見えない計画などによってすべてが出てくるように。出ている形がさまざまな形が出てきます。</p> <p>ヨセフの場合は奴隷になって総理になるし、捕虜になって総理になるし、さまざま、人間としては計画できない、想像もできないそういう神様の計画と導きがあるわけですから。最適を探すといっても、結局私たちは「最適」と言いながら目に見えること、聞こえること、人の判断などなど現実から何が1番良いものを選ぶとします。</p> <p>倫理道徳的なことを含めて格好つけて。しかし私たちは神様の子供です。死んでキリストが生きておられるのです。だから私たちの最適は1つしかないんです。今ここでやるべきことが人の目から見てどう見えるかは関係なくて、神様が私たちに働いてくださらなければなりません。神様がなさることが大事です。</p> <p>神様を握って私がするのではなくて、神様が心、考え、無意識すべてのことを神様がすべて治めてくださることを求め続ける。ING。</p> <p>イエス・キリストによって神の国と聖霊充滿を常に先に、そして集中してただ求め続けること。それ以外には私が今ここを正しく生きる道はないんです。何ができた、できなかった、人がどう反応した。そのようなことに私がまだこだわっているのならまだ私たちはサタンに騙される可能性が十分あります。</p> <p>私たちは神の子供であって神の姿を持っているものです。だから神様が周りがどうなるか、それにいちいち反応して「ああ。これを変えよう」また「創造しないように」「これはまた変える」というそんな神様ではありません。神様はみこころのままにすべてを成し遂げて行かれる方です。神様は私たちがそういうプライドを持って生きることを願っておられるし、そういう存在であることを願っています。</p> <p>すなわち常にイエス・キリスト、神の国、聖霊充滿によって心、考え、魂を主が捕えて治めてくださること。この神様の中へ、神様の中にあらかじめ入っていくことを願っておられます。</p> <p>だから私は毎日毎日ただイエスによってすべてのことをオールインして、そして先に神の国を求めて、常に聖霊充滿を待たなければなりません。</p> <p>結論です。まとめますと「真のあらかじめ」というのは人間の考えとか行いとかによるものではないんです。世界の始まりからおられた方、必ず成って行く未来まで握っておられる方が、唯一「真のあらかじめ」の主人公となります。それは創造主なる神様です。なぜ。神様からすべてが造られてきたから。未だに進行中です。</p> <p>そして、私がこう前もって計画したからなるんでしょうか。</p>
---	---

<p>2. ただキリスト</p> <p>➡人はキリストによってのみ創造主につながり、「真のあらかじめ」に入れてもらえる</p> <p>3. 準備できた使役の基準(聖霊充滿)</p> <p>➡任された子どもに対するDIPがどれくらい見えるのか</p>	<p>皆さんと私の人生が果たしてそうやって皆さんが希望したとおりに、願った計画通りに狙った通りになったんでしょうか。なぜでしょうか。罪、サタン、のろいに勝つ力がないからです。自分に勝つ、世の中に勝つ力がないから実際私があらかじめ計画を持ってでもできません。だから真のあらかじめは主のものであって、主の創造の力があるからそれが本当のあらかじめとなるんです。私たちはこの神様とともにすべてのことを主によって始めてもらわなければなりません。</p> <p>そして、その神様に会う道である唯一の道がイエス・キリストです。すなわちイエス・キリストこそが、必ず成っていくあらかじめの神様、その神様と私がつながって、神様が持っている私に対する、世に対する、現場に対するあらかじめ持っているものが、私の心の中に、生活の中に転嫁されてくるわけです。これがイエス・キリストです。</p> <p>毎日毎日、その日その日、神様が与えてくださる今日の力と今日の導きを求めなければならない理由はそこにあります。分かりませんから。サタンが「あれだ、これだ」と騙しますから。「最適」と思っていたのに本当はそれが自己満足にすぎなかったことがたくさんありますから。サタンに勝つのはただイエス・キリストしかありません。</p> <p>だから神様からの明確な導きと働きをもらうのにはイエス・キリストしかないんです。</p> <p>最後の結論として、だから私が使役者として神様が求めている準備できた使役者の基準です。</p> <p>いろんなテクニックとか、絵が上手だとか、ピアノが上手だとか子供の扱いが上手とか、いろんなことがあるかもしれませんが。神様が、私がどれくらい準備できたか測るバロメーターは、あなたの中にあなたの現場で、何も見えなくて、時にはため息が出てくる現場かもしれないし、時には楽しい現場かもしれないけれどそれと関係なく現場と関係なく子供と関係なく教会の事情と関係なく、あなたの中に神様が示す神様の中にあるからこそ神様があなたの心の中に与えるD、ドリームがあるのか。</p> <p>それによってあなたが実際に実行できるようなイメージを持っているのか。また実際挑戦するPプラクティスの内容を持っているのか。</p> <p>現場によって左右されるのではなく、それは現場と関係なく神様が、創造の神様が世界を造るときにそうであったように、神の姿に似せて造られた私たちにも神様が願っているのは中途半端に神様を信じて、中途半端に世の中に合わせてするのではなくて、完全に神様の方に立って神様から遣わされる。</p> <p>何から始まるんでしょうか。「あなたの夢から、あなたのイメージ、あなたの</p>
---	--

プラクティス」が主にあってあらかじめそれが準備できているのかどうか。後はその準備できた分、神様から出たものであるから、神様が責任をもって「現場で姿を現すようにわたしが働きます」と約束されています。

ぜひ、子どもの使役という、日本の未来と、世界の未来を背負っている私たちであるゆえに、私たち、本当にこれは単純な使役でないのです。勿論すべての使役がそうですが。

神様は私たちに命をかけることを求めています。生活をかけることを求めておられます。すべてのことをキリストの中にオールインしなければ、実際は宗教と同じです。

キリストにオールインして神様が与える実際的なCVだけではなくて、CVだけ暗唱するのではなくて、それが神様から私に与えられた神様から遣わされたDIPが、私の個人の中にはっきりと明確に青写真が描かれているときに、私はどこに行っても何をやっても、何も無い所でも、神様によって再創造の力をもって臨むことができるでしょう。

今日、使役者が持つべき「あらかじめ持ったこと」に対して、自分なりに神様に示された部分を共に分かち合いました。

やさしい話は来週沈先生がなさると思いますので、今回あるエリシャとかダニエルとかエステルとかそういう話は来週沈先生から聞いてください。

「講師祈り」

神様に感謝します。今日、日本中において1番神様が喜ばれる時間となりますように。ここに集まっている1人1人がみこころを思い精神を尽くして日本の未来と世界のために、次の世代を背負っていく子供たちの魂のために悩みもがき祈る者たちが、主の前にみことばの前にもともに集まっています。どうか主が力を与えてください。主が恵みを注いで下さって主が力を与え、何よりも神様が持っておられるすべての計画が私たちにも伝わってきて、私に任されている現場に対する明確な青写真として描かれるように。主からいただいた確信をもって大胆に臨むことができますように主が祝福してください。必要なすべての力を増し加えてください。イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。